

最適化工程表

	最適化実施項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
業務を的確に実施するための事務処理の簡素化・効率化	内部事務の一元化				←開発	→リリース								
	消費税システムの統合									←開発	→リリース			
	電子データの有効活用等による事務の簡素化・効率化	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース
	事務の集中化、アウトソーシングの推進 (税務相談事務の集中化) (その他事務の集中化)			→導入拡大										
IT活用による納税者利便性の向上等	e-Taxの機能・運用の改善	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース
	国税庁ホームページ(「確定申告書等作成コーナー」)の機能改善	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース									
	納税者窓口関係事務の一本化(ワンストップサービス)の推進(内部事務の一元化と同時に実現)	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース	←開発・リリース									
	還付金振込処理の迅速化		←開発	→18年9月オンライン化										
	国税の納付手段の多様化			←開発・リリース	←開発	←リリース								
	公売事務におけるインターネットの活用	←開発	→18年8月リリース											
IT活用による調査・滞納整理に関するシステムの高度化	納税者に関する各種情報の相互活用等			←開発	←開発・リリース	←リリース								
	調査選定における財務データ等の高度活用				←開発	←リリース	←継続検討							
	査察に関するシステムの高度化				←開発	←リリース								
	間接諸税・酒類関係に係るシステムの整備			←開発	←リリース									
	滞納整理に関するシステムの整備			←開発	←リリース									
	資産課税に関するシステムの整備							←開発	←開発・リリース	←リリース				

最適化工程表

	最適化実施項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
システムの安定性・信頼性及び情報セキュリティの確保	バックアップセンタの設置													
	システム機器の定期的なリプレースの実施 (KSKシステム)													
	(e-Tax)													
	(その他のシステム)													
	セキュリティの向上													
システム関係経費の削減及び調達の透明性の確保	(センタ施設・ネットワーク構成等)													
	KSKシステムとOAシステムの統合													
	段階的なオープンシステム化の推進													
	ソフトウェアの汎用製品化の推進													
	KSKシステムに係る画面等のWeb化													
機器の再編成・統合の推進	(KSKシステム)													
	(e-Tax)													
	(現金領収器)													
														

(注) 1 平成16年度から平成18年度にかけて実施したオープンシステム化は、KSKシステムの税務相談、課税実績検索、総務（税理士）、審理室、鑑定、非課税貯蓄限度額管理及び会計の各業務システムである。
2 平成19年度から平成22年度にかけて実施したオープンシステム化は、KSKシステムの資料調査、財産評価、業務管理情報、企画、査察及び徴収の各業務システムである。